

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

犬山の子どもは犬山全体で育てる！女性の活躍みがあるまちへ！事業

2 地域再生計画の作成主体の名称

犬山市

3 地域再生計画の区域

犬山市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

本市は、平成21年1月をピークに人口が減少局面に入り、現在も同様の傾向にある。若年世代の市外流出が顕著であり、特に20歳-39歳の女性の減少が激しい（女性の数。ピーク時H14年9,879人→H27年7,431人）。出生率も低く（H24年1.41）、愛知県内でワースト7位という状況である。

人口減少に歯止めをかけるには、子育て世代の市内への定住促進と出生率の向上が何よりも必要であり、そのためには女性が安心して子育てができる支援があるとともに、自身の成長や活躍の場と機会が豊富に用意されていることが重要である。

しかしながら、本市の子育て施策は、魅力的な事業や利用したいと思えるような施設が無いなど、子育て世代（特に女性）が満足するサービスを提供できていない（就学前児童の親への意識調査「子育て支援拠点施設を利用していない人の割合」74.1%）。

また、市の情報発信力は低く、子育て世代が必要とする情報を適切に届けることができていない。これは、公共が行う事業のみを取扱い、民間実施のイベント等は把握していないことや、情報発信の方法についても、主に市広報紙とHPのみであることに起因する（子育てママが得る情報の入手先として「市広報・パンフレット」は31.9%。1位は「友人から」76.3%）。

加えて、本市には、子育てと女性の活躍を応援する人・団体等が多数活動しているが、それぞれ単独の取組みに留まり、相互の交流が希薄で縦割りの状況である。このため、魅力的な支援活動を行っているにも関わらず、届けたい層（子育て家族）に伝わっていない。団体間もお互いの状況を把握していない状

況である。これは、共有できる目標や取組みの方向性を取りまとめる場と機会、そして何より組織（ネットワーク）の欠如によるものである。活動が「見える化」されていない為、「犬山市は子育てと女性の社会進出支援が弱い」という印象が強い（子育て世代が重要だと思える施策の1位「子育て施策の充実」だが満足度は全項目の平均以下（H28市民意識調査））。子育てと女性活躍を強力に推進する体制づくりが必要である。

加えて、子育て世代が市に望む取組みとして「子供が安心して遊べる場の整備（78.8%）」「地域の見守り・声掛け・パトロール（41.0%）」が挙げられており、地域全体での子育て環境充実が望まれている。

本市は、これまで、「女性の働く環境整備」や「活躍のための支援メニュー」を事業として設定したことがなく、そもそも女性が活躍するまち、働き方改革に繋がるような支援ができていない。

こうした状況から、生産年齢人口における30歳前半の女性の労働力率は他の世代と比べ低く、全国平均を下回る（H22年全国64.7%、市62.1%）。就学前児童の母親の状況として「以前は働いていたが、現在は働いていない」割合が40.7%あり出産を契機に仕事を辞める人が多数存在する。また、就労意向として「働きたい人」の割合が76.2%あり、女性の就業（復職）や起業に関する支援が不足しており喫緊の課題となっている。

4-2 地方創生として目指す将来像

「公共施設（市役所）は行きづらい」と、敬遠しがちな子育て中の親と子が、敷居の高さ（ハードル）を感じず、気軽に集うことができる「(仮)子育て家族気軽に集えるステーション（以下「ステーション」という。）」を整備する。ママ同士の交流の場、子育てや自分磨きの情報が手軽に得られる場、気軽に相談できる「子育てなんでも相談所」、などの機能を有する「楽しめる集いの場」を形成する。併せて、ステーションで起業や就業、復職に関する情報収集や講座等の実施会場としても位置づける。

また、いつでも手軽に分かりやすく手に入るように、情報紙を発行する民間事業者と協働して、あらゆる子育て&自分磨き情報をステーションに集積し発信力を強化。ステーションでの集約のほか、市広報紙やHP等でも拡散することで情報を必要とする子育て世代に確実に届ける。

これらの機能をステーションが有し、交流、情報、子との触れ合い、憩い、遊び、相談、自分磨き（学び）の場など、子育て世代（特にママさん）の求める要素が一元化された施設の整備を図る。

そして、これまで繋がりが希薄だった子育て関連や女性の活躍を応援する人・団体等が連携できるよう、思いを一つに活動する場と機会として「(仮)犬山全体

で子育てとママの活躍を応援するネットワーク」を構築。これまで参画のなかった企業等も含め、様々な実施主体が協働し持続可能な体制を整えることで、子育て支援とママが活躍できる環境が整うとともに、ネットワークに参画する先輩ママ、学生、企業、大学、高齢者、など様々な主体自身もそれぞれに「居場所と出番のある」、生涯活躍できるまちとなる。

本市は、これまで女性の働く環境整備や活躍する為の支援メニューを具体的に用意してこなかった為、本事業を契機として、女性の起業・就業（復職）の応援など、社会で輝く・活躍できるための支援を体系的に実施していく。

これらの取組みを官民が総力を挙げて推進することで、子育てママが「子どもがいるから」、との理由で自分が望む生き方・働き方をあきらめず、社会で輝き活躍できるまちとなる。また、起業・就業（復職）などの支援が充実することで子育てママが地域経済の有力なプレイヤーとなる社会の実現を目指す。

本事業の推進によって、子育て家族にとって魅力的なまちとなり、犬山市で子育てをしたい人（定住人口）の増加に繋がり、出生率も向上し、やがては人口減少に歯止めをかけることができると信じている。加えて、次代を担う子どもたちの育ちに様々な主体が積極的に参画することで、「誰もが生涯活躍できる活力あるまち」が実現できると考えている。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30 年度 増加分 1 年目	H31 年度 増加分 2 年目	H32 年度 増加分 3 年目	KPI 増加 分の累計
「（仮）子育て家族気軽に集えるステーション」の利用で情報を得た後に、就業等の講座を経て「マルシェ出店」や「カフェでのワークショップ講師」などのプチ起業に繋がった子育てママの人数（人）	0	0	10	10	20
ステーションでのイベントやミニ講座の実施に対する参加者数（人）	0	30	30	70	130
シェアリングエコノミーによる子育て支援サービスを利用した人及びママ交流会に参加した人で、のちに子育て支援者（ホスト）になった人の数（人）	0	5	10	15	30

「(仮) 犬山全体で子育てとママの活躍を応援するネットワーク」が開催する「子育て&誰もが活躍ミーティング」に参加した人の数(人)	0	30	10	20	60
--	---	----	----	----	----

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

公共施設に行きづらいと感じている子育て中の親子が、気軽に集える場(ステーション)を整備。子育て相談、親同士の交流、就業等の情報収集や講座等の会場に活用する。官民協働で発信力を強化して子育てと自分磨きに関する情報をステーションに集積、利便性を向上する。

また、これまで繋がりの弱かった人・団体・企業等が連携するネットワークを構築。多様な主体が協働できる体制を整えることで、子育てとママが活躍できる環境が充実。各主体にとっても生涯を通じて活躍できるまちとなる。

このように安心できる子育て環境が整うことで、講座等を受講した女性の就業・起業に繋がり、女性活躍のまちと経済活性化が実現する。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金(内閣府):【A3007】

① 事業主体

犬山市

② 事業の名称: 犬山の子どもは犬山全体で育てる! 女性の活躍みがあるまちへ! 事業

③ 事業の内容

1. (仮) 子育て家族気軽に集えるステーション整備事業

子育て家族(特にママ)が気軽に集えて、話せて(親同士の交流)、子どもも遊べる、情報が手軽に取得できて、就業(復職)や起業に繋がる情報や機会が用意され、子育て相談も気軽にできるようなサービスが一元化された場((仮) 子育て家族気軽に集えるステーション)を整備する。

2. 情報収集及び発信力強化事業

民間事業者と連携。子育て&自分磨きに関する情報を集約し、インターネットや紙媒体など、様々な手法を用いて効果的に情報を発信。子育てママに必要な情報を適切に届ける。加えて、市のシティプロモーション施策として市内外に幅広く発信。

3. 犬山市全体で全力で子育てを応援！支援する人も大活躍事業

子育てや女性の活躍を応援する人・団体が緩やかに繋がり目的や目標を共有することで、相乗的な効果が得られるようなネットワーク（(仮) 犬山全体で子育てとママの活躍を応援するネットワーク）を構築する。具体的には各団体等の活動の情報をとりまとめ、団体間の交流機会を設ける「子育て&女性活躍ミーティング」を開催。市全体で子育てと女性の活躍を応援するという気運を醸成。また、子育て世代だけでなく、支える側の地域団体、学生、高齢者、企業、大学、ボランティア団体など、様々な主体が連携し生涯活躍できるまちを目指す。

4. シェアリングサービスを活用した新たな子育て&輝き支援事業

子育て預かりサービス事業者等と連携し、スマートフォンなどの ICT 等を活用した「シェアリング」という新たな分野を子育て施策に導入することで、子育てに係る負担を軽減。併せて交流会を開催し、子育て家族間の交流の機会を設定する。また、交流会を通じて子育てを支える側の人材も新たに発掘し、子育て支援活動を通じて地域課題を解決する担い手として活躍する場の開拓を応援。

5. 子育てママが自分を高めて社会で輝くためのきっかけづくり事業

- ・カフェで子育て相談会
- ・女性が活躍！起業セミナーの開催
- ・女子の「かわいい」で特産品を磨き上げ！事業（特産品開発）
- ・子育てしながら輝くために！「自分磨きのための講座・交流会」の開催
- ・就業も大切！社会で再び輝くためのプチ連続講座開催（復職の為のセミナー「こうして復帰しました」体験講話会など）
- ・起業を手軽に始めよう！（仮）「マルシェ出店で稼ぐ力を磨く！講座」、「カフェが舞台！ワークショップ講師から始めるプチ起業」事業

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

(仮) 犬山全体で子育てとママの活躍を応援するネットワークは、地域活動団体、企業等との連携のもと、交付対象期間終了までには、持続可能な体制を整え、本市の子育て支援に不可欠な組織となるとともに、安定した運営を実現する。事業収益を大きく見込むことは難しい為、本市の一般財源、取り分け、子育て支援推進の為に納めてくださったふるさと納税を効果的に活用。市内企業等からの協賛金で得た資金も用いて事業を充実展開する。

【官民協働】

子育てと女性活躍支援のネットワーク構築と強化において、企業を始めとした民間の参画は不可欠であり、官民が連携することで、行政だけでは達成できない大きな成果が得られる。

企業、地域団体、市民などはそれぞれの特性を活かして子育てと女性の活躍支援を行い、子育て環境を充実させるとともに、地域経済の活性化を進める。

行政は、子育てと女性の活躍支援事業を拡充するとともに、子育て家族やネットワークの参画者が集える場と機会を整え、市全体で子育てと女性の活躍を支援する体制を構築・強化。それぞれの主体者が役割や特性を活かした活動が展開できるよう、コーディネートと支援を行うことにより、官民による相乗的な効果が期待できる。

【政策間連携】

子育てと女性活躍支援事業を充実させることにより、複数の分野の政策が連動し、相乗的な効果をあげることができる。事業の積極展開により、復職や起業などの女性社会進出のきっかけづくり、子育て家族のワークライフバランス充実、高齢者も子育てに参画することによる生きがいや生涯活躍の場づくり、企業参画による雇用の増加や地域経済活性化、そして、こうした取組みを市内外に効果的に発信することで市の魅力を高めるシティプロモーションにも繋がり、単独の事業では得られない大きな効果が得られる。また、本事業は子育てと女性活躍の為の支援ネットワーク構築を進める取組みであり、子育て家族にとって必要な情報や支援が得られるワンストップ化を実現するものである。

【地域間連携】

子育てと女性の活躍支援を推進するにあたり、市単独でサービスを深化させることは難しく、近隣市町、全国に所在する連携協定都市、本事業が目指す分野の先進自治体など、関係する様々な地方公共団体との連携(事例の共有等の情報交換、解決の為の協議、広域連携の可能性検討など)を積極的に実施することで、質の高い充実した施策展開が可能となる。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30 年度 増加分 1 年目	H31 年度 増加分 2 年目	H32 年度 増加分 3 年目	KPI 増加 分の累計
「(仮) 子育て家族気軽に集えるステーション」の利用で情報を得た後に、就業等の講座を経て「マルシェ出店」や「カフェでのワークショップ講師」などのプチ起業に繋がった子育てママの人数 (人)	0	0	10	10	20
ステーションでのイベントやミニ講座の実施に対する参加者数 (人)	0	30	30	70	130
シェアリングエコノミーによる子育て支援サービスを利用した人及びママ交流会に参加した人で、のちに子育て支援者 (ホスト) になった人の数 (人)	0	5	10	15	30
「(仮) 犬山全体で子育てとママの活躍を応援するネットワーク」が開催する「子育て&誰もが活躍ミーティング」に参加した人の数 (人)	0	30	10	20	60

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

(第2期) 地方版まちひとしごと創生総合戦略を審議している犬山市総合計画審議会にて、KPI の達成状況をもとに、PDCA サイクルに基づく効果検証を行う。

議会の検証については、外部組織のメンバーに市議会議員が2名加入し、市議会と情報共有を図りながら検証を行うこととしている。

【外部組織の参画者】

犬山市総合計画審議会委員など

【検証結果の公表の方法】

検証結果は、市公式ホームページ等により公表を行う。

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 49,745 千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日（3ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

【検証方法】

総合戦略策定に際して設置した「いいね！犬山総合戦略推進会議」の委員（学識経験者、関係団体の職員、住民代表等）が多く参画している「犬山市総合計画（市の最上位計画）審議会」委員を中心とした外部組織が、KPIの達成状況をもとに、PDCAサイクルに基づく効果検証を行う。

議会の検証については、前述の外部組織に議会を代表して議員が2名参加しており、情報を共有することとする。

【外部組織の参画者】

犬山市総合計画審議会委員（愛知大学教授、大同大学教授、名古屋芸術大学准教授、犬山市議会議員、犬山商工会議所副会頭、犬山市社会福祉協

議会会長、犬山市男女共同参画市民会議会長、市内で働く子育て世代の若い女性、など幅広い世代と属性による参画者で組織。)

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30 年度 増加分 1 年目	H31 年度 増加分 2 年目	H32 年度 増加分 3 年目	KPI 増加 分の累計
「(仮) 子育て家族気軽に集えるステーション」の利用で情報を得た後に、就業等の講座を経て「マルシェ出店」や「カフェでのワークショップ講師」などのプチ起業に繋がった子育てママの人数 (人)	0	0	10	10	20
ステーションでのイベントやミニ講座の実施に対する参加者数 (人)	0	30	30	70	130
シェアリングエコノミーによる子育て支援サービスを利用した人及びママ交流会に参加した人で、のちに子育て支援者 (ホスト) になった人の数 (人)	0	5	10	15	30
「(仮) 犬山全体で子育てとママの活躍を応援するネットワーク」が開催する「子育て&誰もが活躍ミーティング」に参加した人の数 (人)	0	30	10	20	60

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

検証結果は、市公式ホームページ等により公表を行う。